

(事例59) 51歳男性、製造業・交代勤務、急性硬膜外血腫による交代勤務、残業の禁止

類型	症候	疾患
1	2. 呼吸困難、しびれ	2. 急性硬膜外血腫

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 51歳男性、既往歴：特になし</p> <p>2) 業種、作業内容 製造業、交替勤務</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 急性硬膜外血腫</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、時間外労働禁止、配置転換、治具導入など 交替性勤務から日勤へ変更し、時間外労働禁止とした。 また、業務的な配慮としては、立ち作業から比較的座位での作業がメインの職場へ配置転換し、 重量物の扱いを禁止とした。</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>頸椎付近の硬膜外出血による頸髄圧迫で呼吸困難やしびれなどの症状が出現。救急搬送後、緊急で血腫除去手術。1カ月後に再手術、2カ月後よりリハビリ開始。生命の危険性についての説明もあったが、麻痺も残らず、5カ月後に上記制限をかけ、復帰。主治医から、血腫除去手術の際に頸部の筋肉を切っており、重量物を持つことは避けるよう助言をもらっており、重量物を持つことも禁止とした。 その後、定期的に面談を行い、残業制限を徐々に解除し、交替性勤務へ戻した。特に、問題はなし。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>就業制限については、事前に主治医の意見を聴取した。 本人、上司、人事担当者を交えて職場関係者ミーティングを実施し、復帰の時期や就業制限、その他職場で配慮すべきことについて話しあった。</p>		